

7月の果実の見通し

令和4年6月30日現在
山形県東京事務所

区分 品目	主産地	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		販売見通し
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
おうとう	山形 北海道 など	230	120%	370	1958	安い	1749	118	51.3%	山形県産「佐藤錦」は6月最終週には終了していく。「紅秀峰」は6月23日より販売解禁。7月上旬はピークとなる。秋田産JAこまちは6月21日よりスタート。天候被害の影響により半年の半分ほどの出荷数量の見込みとなる。
もも類	山梨 福島 など	6063	95%	5600	733	高い～ 並み	693	15	0.2%	山梨産は前年より若干遅いものの前年より3～4日早いスタート。作柄は前年並みで出荷量は微増。早場産地の「日川白鳳」は7月初旬で終了する見込み。生育順調から若干小玉傾向が見込まれ梅雨時期から高糖度品が減少となる可能性がある。「早生白鳳」のピークは8日前後、「白鳳」のピークは17日前後になる。「なつっこ」は20日前後のスタート予定。福島産は7月上旬より極早生の販売が始まり主力の「あかつき」は下旬から販売になる予定。和歌山産は6月下旬、長野産は7月中旬から販売が始まる。
ぶどう類	山形 山梨 など	1272	100%	1243	1706	安い～ 並み	1503	554	43.6%	島根・大阪産の「デラウェア」は7月上中旬で終了となり山形産は平年に比べ加温が遅く上中旬より増加、山梨産ぶどうについては、「シャインマスカット」が増加し、「巨峰」・「ピオーネ」は前年の95%前後に落ち着き下旬から「巨峰」は8月に向かって増加傾向。岡山産は「アレキサンドリア」は少ないが他品種は潤沢。長野産は7月の「巨峰」は面積減によって少ないが「シャインマスカット」は若干多くなる。
すいか類	長野 山形 など	13083	95%	11852	237	並み	209	3840	29.4%	千葉・鳥取産中心の販売が進み6月末よりトンネル物のお荷ピークに入る。新潟産は順調な出荷で7月下旬で終了となる。山形・長野産は7月上旬より販売スタート。梅雨時期の降雨量、その後の日照量によるが昨年よりやや小玉傾向になる予想。Lサイズ中心のため7月中・下旬の販売がポイントとなってくる。
メロン類	千葉 北海道 山形 など	3153	105%	3417	534	並み	466	1162	36.9%	【オールスメロン】6月時点で夏系品種に切り替わり6玉8～9kg台中心の出回りとなる。仕上がりは良く、内容は充実。【その他メロン】山形産「アンデス」・「クインシーメロン」は6月下旬からスタートとなり出荷量は生育順調から前年並み。千葉産「タカミメロン」は昨年に比べ多い出荷量だが肥大はやや弱い。北海道産は6月から「ルピアレッド」の販売が始まり7月中旬あたりから「らいでんメロン」の販売が始まる。天候も良く生育順調で前進出荷が予想される。

引用資料:「東京都中央卸売市場における果実の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、果実の入荷・市況見通しについて(東京青果機)

入荷量について:「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)